

# きのP通信

第2号  
発行: 2025年7月  
帯広開発建設部  
地域連携課

「きのP通信」はきのこプロジェクトチームの活動を発信するものです。

## 十勝ダムの作業用トンネル内で「原木しいたけ」を栽培中

帯広開発建設部は、十勝ダムの作業用トンネル内で「原木しいたけ」の栽培を始めています。(今は4本) 「しいたけ」のおおよその生育環境は、温度15〜26度、湿度は80%前後、木漏れ日程度の光と、風通しが必要と言われています。

一方、作業用トンネル内は、温度8度、湿度90%、日光は入らず、換気設備はありません。しいたけにとって、快適空間とは言えなさそうです。

が

トンネル栽培の“**押しポイント**”は、「温度・湿度の環境が**一定**」なことです。この「環境が一定」であることが最大の利点と考え、栽培にチャレンジしています。

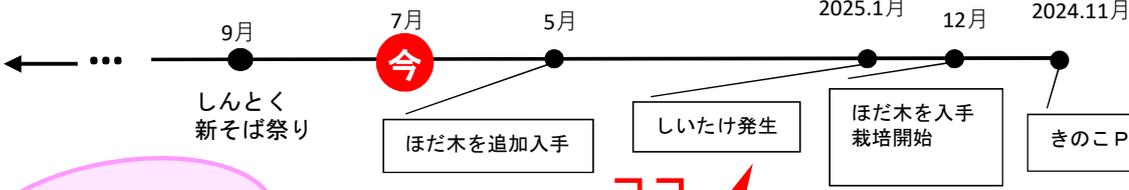
トンネル内栽培について、詠みます！

お押しどころ  
おんどしつど  
温度湿度の  
安定感  
あんでいかん  
担当者T

↓トンネル内はこんな感じです。安定感が伝わります..よね?



### ～時系列(栽培、イベント)～



↓きのP通信は、HPに掲載中です。



そんな中  
なんとっ!  
まさかっ!

## 原木しいたけが“発生※”しました!!

※菌類は、発芽ではなく、発生と言うようです

今年1月のある日、定期観察をしてくれている十勝ダム支所から「変化有り」の連絡が入りました。

現地に向かうと、なんとっ!まさか!しいたけが発生しています。しかも複数。地域連携課は驚きと喜びで大騒ぎ。

光に当たらない環境のためか「色白さん」ですが、貧弱ではありません。

ただ、収穫のタイミングを完全に誤り、一部が巨大化。ビジュアル的にもインパクト“大”になってしまいました。

収穫した「しいたけ」は、みんなで試食しました。

初収穫に舞い上がっていたのかもしれませんが「とても香り高く、美味しゅうございました」

その後も何度か収穫しましたが、現在しいたけは活動休止中と思われます。

活動再開が待たれます。

Zzz...



↑12月からトンネル入りした原木と、初代の手作りカバーです。先日、この初代は役目を終了しました。

祝!初収穫 → 一番大きなものは、カサの直径が14cmにもなりました。



↑白くてぷくぷく♥ 触ると「どっしり」たくましいです。



①14cm、②10.5cm、③9.5cm、④5.5cm、⑤4.5cm

## 明るいニュースの裏で…

～不採用になったチャレンジアイデア～



栽培に取りかかる前、トンネルの低温対策について、大真面目に検討しました。

あと5℃は温度を上げたい・・・でも、加熱器のようなものは使えない。ということで絞り出した案が、「ザゼンソウをトンネル内で一緒に育てる」ことでした。

ザゼンソウは、開花時期にはなんと20℃以上に発熱する植物で、低温・高湿でも生育可能です。

「いける!」というか「イケてる!」と真剣に思いましたが、発熱期間は1週間程度であることや、強い異臭もあるらしいことから断念しました。残念(TT)

### ザゼンソウ

僧侶が座禅を組んでいる姿に似ていることがその名の由来。その匂いから、英名はスカンクキャベツと言うらしいです。→



## 感動!と驚き!と決意!の「発生ニュース」



ダム施設のトンネル内の環境で「原木しいたけが育つ」と分かったことは、当初の不安が大きかった分、とても明るいニュースになりました。

原木しいたけの生産者の方にお聞きしたところ、「本当は秋に発生する予定の種類」だったようです。

何かの刺激を与えると活発に活動することがあるようで、今回はトンネルへの引っ越しという環境変化が刺激となったのではないかと考えています。

環境の変化にも負けずに、すくすく育つ強いタイプなのか、逆にびっくりしちゃった繊細なタイプなのかはわかりませんが、その反応に「生き物ってスゴいなあ」と感心してしまいました。

そして、あらためて「大切に育てるぞ」と強く思いました。

## 編集後記

きのこPが始動し、新得町へ行く機会が増えました。

楽しみは昼食です。新得町と言えば、やっぱりそばで、ついついそば屋に足が向いてしまいます。9月の新そば祭りには多くのお店が集まるようで、今から楽しみです。

そして、新得町にはそば以外にも、ゆつたりとした景色と、こだわりのメニューを楽しめるお食事処がたくさんあります。

「そばか、そば以外か・・・」いつも同じ悩みを繰り返しています。

(担当者T)

(-~-)

きのこプロジェクトの舞台になっている『新得町』について紹介します。



人口	5,382人
世帯数	3,200戸
令和7年4月末現在	

出展:新得町ホームページ

北海道のどまんなかにある新得町。東大雪の山々と日高山脈に抱かれ、北海道屈指の美しい大自然が自慢です。

風景を楽しむのもよし、アクティビティを楽しむのもよし、こだわりの“新得そば”を楽しむのもよしです。

また、新得町には十勝川水系の6つのダムと7つの水力発電所がある、「ダムの町」、「電源の町」です。

- ～新得町の名産品～
- ・そば
  - ・乳製品
  - ・ミネラルウォーター
  - ・原木しいたけ
  - ・地鶏
  - 等々



←新得町ホームページ

毎年9月下旬に開催される「しんとく新そば祭り」は、とれたて、ひきたて、うちたて、ゆでたてのそばが楽しめる町の一大祭りです。

### ◇きのこプロジェクト(きのこP)とは

新得町と町内のダムを管理するダム事業者が協力し、町の名産のひとつである「原木しいたけ」と「ダム」をキーワードに、新得町と原木しいたけの知名度を一層上げることを目的とした取組。

現在、各ダム事業者は、ダム施設で栽培している原木しいたけを9月の「しんとく新そば祭り」で披露できるよう、奮闘中!

(「きのこP通信」第1号も併せてご覧ください)

昨年完成した新庁舎は、町内産のカラマツを構造材に用いた、外観も内装も素敵な建物です。庁舎に「木構造」を取り入れている役場は珍しく、北海道が認定する「HOKKAIDO WOOD BUILDING」(北海道ウッドビルディング)にも登録されました。なるほど「林業・木材の町」新得町!!